

我が家は各務原にあります。目の前の道が「にんじん通り」というのが笑えます。その名の通り、にんじん畑に囲まれています。トウモロコシも盛んで、最近、ヤングコーンの穫り入れが始まりました。要するに、トウモロコシの間引きです。いくつも実らせると栄養が分散して、小さくておいしくないトウモロコシができるので、間引くことで養分を集約するのです。(その余り物を売って商売にしようというのがおもしろいですね。そんなヤングコーンを、お金払って買ってませんか?)

「情報も、間引きせなあかん」

先日、ある先生のカメラを借りて行事の撮影をしたことがありますが、写真1枚の重さが約4メガバイト。最近はこのようですね。

屋外活動系の行事が同時に行われましたが、このままでは学校のハードディスクはほどなくパンクです。こう言うは何ですが、行事の写真の多くは特徴をとらえがたい図柄が多いようです。それはそれぞれに貴重な記録なのでしょうが、「でも、このサイズが必要なの?」と考えてしまいます。

二度と見ることのない写真かもしれませんね。それなのに場所ばかり取っているのは、よくありません。ひやひやします。



写真撮影の適正サイズ

必要なのは、1MB

PCの主要な画面サイズ (類似のものは省く)

	横	縦	画素数
CGA	320	200	64,000
QVGA	320	240	76,800
VGA	640	480	307,200
WVGA	800	480	384,000
SVGA	800	600	480,000
WSVGA	1,024	600	614,400
XGA	1,024	768	786,432
WXGA	1,280	800	1,024,000
SXGA	1,280	1,024	1,310,720
SXGA+	1,400	1,050	1,470,000
WSXGA+	1,680	1,050	1,764,000
UXGA	1,920	1,200	1,920,000
HD 1080	2,048	1,080	2,073,600
2K	1,600	1,080	2,211,840
WUXGA	1,920	1,200	2,304,000
QXGA	2,048	1,536	3,145,728
WQXGA	2,560	1,600	4,096,000
QSXGA	2,560	2,048	5,242,880

コンピュータの画面サイズを考えてみて下さい。おおよそこれまでの標準は、「XGA」と呼ばれ、縦横 1024 × 768 ピクセルです。画素の数は 786,432。だから、80万画素もあれば十分でした。その後、VISTA 登場のころ、ワイド画面のマシンが出ました。

ちなみに岸の愛機は、縦横 1280 × 800 ピクセルで、計算するとその数は 1,024,000。つまり約 100万画素。言い換えれば 1MB ということになります。せいぜい 1MB しか表示できないのに、編集時の画面に入らないような大きな写真が要りますか?

「いる」とも「いらぬ」とも言えませんね。それは、

だって、印刷したいから……

撮影後の写真の使用法が定まっていないからですよ。

なるほど、細かく出る方がよいでしょうね。でも、学校のプリンタの性能まで含めて考えると、それほどサイズが必要か、とやっぱり思います。写真屋でプリントアウトするのなら別ですが。

さらにですね、「表面にラミネート」とか、そういう仕上げをするのであれば、なおのことです。ラミネートは、表面にぼかしをかけるようなものですから、そういうことをするつもりなら、高画素の必要性はますますなくなります。

デスクトップパソコンでもせいぜいUXGA程度
なお、QSXGAは、28型テレビサイズです。

カメラの高スペック化とどう戦うか

ちょっと前までのカメラは、画素数選択のリストに「1024 × 768」などとはっきり書かれていて、「あ、パソコンユーザーのこと、考えてくれてるなあ」と思わせてくれましたが、最近は XGA の時代でもないせいかそんな表示も消え、記録サイズもやたらインフレ傾向です。とにかく一番小さなサイズで撮影することをお勧めします。まずそれができることが大切です。

さて、「サーバーに保存する = 容量の圧迫」ですから、大きなものは、画像サイズを小さく変換し、かつ早めに消去して下さい。「画像サイズ」とは、データサイズのことです。ウィンドウズ付属の「ピクチャーマネージャー」などの軽便ソフト、コンピュータに入っていたら、お試してください。(そのほか、画面のサイズを変えずに容量だけ小さくするソフトもありますね。気になったら調べる癖をつけましょう。)